



三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2025-2026
クラブテーマ

友に学び、ともに歩み、共に成長



2025. 7. 14

外部卓話

No.2530 No. 2



会長挨拶
三条南ロータリークラブ
会 長
木 村 譲

本日は、お忙しい中、ゲストとしてガバナー補佐の青柳様をはじめ、IM実行委員長本間尚貴様、IM実行副委員長斎藤雅弘様、幹事齋藤智則様と燕ロータリークラブの皆様にお越しいただき、誠にありがとうございます。この後、青柳様には卓話をお願いしております。また、本間様には、IMのPRをお願いいたします。

前回開催しました第1回例会の様子が、三條新聞様に取材され掲載されました。例会後の撮影にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

撮影後には、故金（かるがね）様に1時間ほど貴重なお話を伺うことができました。故金様は、ご自身の事業を売却された後、ロータリークラブの活動に注力されているとのことでした。私自身、ロータリークラブに入会して、人生の先輩方がどのような価値観で生きていらっしゃるのかを直接お聞きできることに大きな意義を感じています。故金様との時間は、まさにそのような貴重なひとときでした。

本日は、ロータリークラブの地区と分区についてご説明したいと思います。

日本国内には34の地区があり、必ずしも各都道府県が1つの地区というわけではありません。例えば、北海道は2つの分区に分かれていますし、岩手県と宮城県、富山県と石川県のように2つの県で1つの分区を構成しているケースもあります。

新潟県は単独で1つの地区を形成していますが、2000年に第2560地区（新潟・群馬）が分割され、群馬県が第2840地区として独立した経緯があります。当時の第2560地区には2,563名の会員がいたと記録されています。

現在、新潟県内には7つの分区があります。新潟県全体の会員数は1,984名で、その中で第4分区は11クラブ354名を擁し、全体の約17%を占めています。最も大きな分区は第2分区で、主に新潟市を中心とした9クラブ465名で構成されています。

一方、最も小規模なのは第3分区で、新津、村松、白根、新津中央、阿賀野川ラインの5クラブ94名で構成されており、室賀ガバナーの地区でもあります。

各分区には、それぞれガバナー補佐が配置されており、本日はそのガバナー補佐である青柳様に卓話をお願いする運びとなりました。青柳様が会社の活動の他にも様々な活動をされている点に興味があり、今回お話しをお願いいたしました。本日も盛りだくさんの内容になりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

第2560地区 2024-25年度5月末 会員数報告

R C	例 会 数	My Rotary アカウン 登録率	2024年 7月1日 会 員 数	5月末 会 員 数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	2	-	377	386	44	9
新発田	2	31.5%	87	92	1	5
村上	4	23.7%	38	38	8	0
水原	3	32.4%	33	34	2	1
中条	4	100.0%	49	50	3	1
新発田城南	3	25.0%	39	40	5	1
藤栄	2	31.8%	23	22	2	-1
新発田中央	4	11.4%	43	44	6	1
中条胎内	4	51.3%	39	39	10	0
村上岩船	2	26.9%	26	27	7	1
第2分区(9クラブ)	3	-	447	465	32	18
新潟	3	35.9%	78	78	3	0
新潟東	4	19.4%	62	67	8	5
新潟南	4	37.9%	113	116	8	3
佐渡	2	66.7%	4	3	0	-1
新潟西	4	65.5%	52	54	3	2
佐渡南	3	11.4%	38	44	3	6
新潟北	3	31.6%	37	38	1	1
新潟中央	2	37.5%	23	24	0	1
新潟万代	3	56.1%	40	41	6	1
第3分区(5クラブ)	3	-	94	99	8	5
新津	3	56.3%	15	16	1	1
村松	3	47.4%	15	19	1	4
白根	5	30.3%	31	33	2	2
新津中央	3	38.5%	27	26	4	-1
阿賀野川ライン	3	0.0%	6	5	0	-1
第4分区(11クラブ)	3	-	354	356	32	2
三条	3	17.9%	54	56	0	2
燕	3	7.1%	42	42	3	0
加茂	3	13.3%	29	30	4	1
三条南	3	21.1%	37	38	3	1
分水	3	66.7%	30	33	4	3
見附	3	10.0%	20	20	1	0
吉田	3	4.2%	24	24	3	0
三条北	3	18.0%	52	50	5	-2
巻	3	8.3%	26	24	2	-2
田上あじさい	4	16.7%	6	5	2	-1
三条東	2	23.5%	34	34	5	0
第5分区(7クラブ)	3	-	297	297	30	0
長岡	3	63.0%	47	46	5	-1
柏崎	3	6.4%	45	47	0	2
長岡東	3	28.3%	60	60	9	0
柏崎東	3	20.5%	41	39	2	-2
板尾	3	25.0%	20	20	1	0
長岡西	4	20.0%	49	50	3	1
柏崎中央	3	28.6%	35	35	10	0
第6分区(6クラブ)	3	-	114	121	12	7
十日町	3	23.7%	28	38	8	10
小千谷	3	18.5%	27	27	2	0
雪国魚沼	4	76.9%	26	26	2	0
十日町北	1	0.0%	10	9	0	-1
津南	3	28.6%	15	13	0	-2
越後魚沼	3	50.0%	8	8	0	0
第7分区(7クラブ)	3	-	303	316	23	13
高田	3	38.8%	67	67	4	0
直江津	3	35.6%	72	73	6	1
新井妙高	3	18.9%	34	37	1	3
糸魚川	4	78.7%	43	47	3	4
高田東	3	54.5%	33	33	2	0
糸魚川中央	4	48.4%	26	32	3	6
越後春日山	3	81.5%	28	27	4	-1

クラブ数	54 クラブ
7月1日会員数	1,986 人
5月末会員数	2,040 人
女性会員数	181 人
純増減会員数	54 人
My Rotaryアカウン登録率	33.7 %

◆本日の出席：39名中31名

◆通算出席率：80.56%

◆本日のお客様：青柳修次第四分区ガバナー補佐、本間尚貴IM実行委員長、斎藤雅弘副委員長、齋藤智則幹事（以上燕RC）、長谷川千佳さん（三条北RC）

◆幹事報告：加藤一芳幹事

◇大阪・関西万博テーマウィーク「平和構築と人権擁護」（アジェンダ2025参加プログラム）ライブ配信視聴登録のお願い◇第2660地区主催でオープン参加型のプログラムを開催。大阪・関西万博の「対話を通して地球的課題の解決策を探る“テーマウィーク事業”」に協賛して、RI協力のもと万博会場内のテーマウィークスタジオにて実施◇日時：2025年8月1日(金)10～16時

よいことの
ために
手を取りあおう

国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツツォ(イタリア)
第2560地区ガバナー 室賀 信宏(白根)
第4分区ガバナー補佐 青柳 修次(燕)
会 長 木村 譲
幹 事 加藤 一芳
S A A 関 博市

事務局
〒955-8666 三条市加町2-5-10
三条信用金庫本店内
TEL 0256-35-3477
FAX 0256-32-7095
E-mail info@sanjo-minami.jp
URL https://www.sanjo-minami.jp

第四分区 IM のご案内

「ご参加を心よりお待ちしております」



本間尚貴 IM実行委員長
斎藤雅弘 同 副委員長
斎藤智則 幹事 (燕 RC)

開催日 2025年9月27日(土)

会 場 燕三条ワシントンホテル

開催テーマ「楽しいロータリー」

タイムテーブル

13:00 登録受付開始

14:00 開 会

14:40 記念講演

ロータリーの友編集長 野崎 恭子様

第四分区 11 クラブ会長

パネルディスカッション

16:00 閉 会

16:15 懇親会開宴

18:30 閉 宴

7月31日(木)までに欠席をお知らせください

ニコニコボックス

7/14 19,000円 (今年度累計 48,000円)

青柳ガバナー補佐(燕)「ありがとうございます」

本間さん、斎藤智さん、斎藤雅さん(燕)

「本日は宜しくお願ひ致します」

長谷川さん(三条北)「いつも江花部長がお世話になって
います。今日は楽しみに来ました。宜しくお願ひ
致します」

木村会長「本日は青柳補佐、本間様、斎藤様、斎藤様、
お忙しいところありがとうございます」

加藤幹事「青柳ガバナー補佐ようこそ当クラブへお越し
いただきました」

関SAA「最近ゴルフのスコアが良く調子よいのでこの
ままいけるように頑張りたいです」

野崎さん、永桶さん「青柳ガバナー補佐、ご一同様、本
日は宜しくお願ひ致します」

田代さん「北 RC 長谷川さんのメーキャップを歓迎しま
す。馬酔木の時は焼酎組合が、今は社員の保険で
お世話になっています。また江花さんを南 RC へ
紹介していただきました」

渡辺俊さん「暑い日が続いています。熱中症に注意しま
しょう」

坂井さん、銅冶さん、吉沢さん「BOX に協力します」

熊倉さん「久しぶりのニコニコ担当です。毎日 30℃超
えでは亜熱帯のようですね。

BOX にご協力ありがとうございました」

会計報告(前年度収支決算報告)



2024-25 年度会計
田代徳太郎会員

(前年度収支決算書並びに本年度予算書を配布しました。
9月29日ガバナー補佐事前訪問・クラブ協議会で
配布する現況報告書に掲載されます)

外部卓話



RI 第2560 地区
第四分区ガバナー補佐
青柳 修次 様(燕 RC)

ガバナー補佐として訪問してお話をする機会は今後
もありますので、本日は燕 RC の一会員として、活動
していることなどをお話いたします。

2019-20 年度に燕 RC 会長の任に着いていた際、
2020 年の春先のコロナ禍危機的状況の中、シング
ルマザーや苦学生収入源による苦境、貧困が多く
伝えられました。更に新潟県の自殺率が全国で最も
高いこと、そして社会的弱者を支援するボランティ
ア団体「フードバンク」が燕には無いことも知り、
大きなショックを受けました。

今こそ、ロータリーの皆さんがこの問題に向けて立
ち上がるべきではないかと提言したものの聞き届け
られず断念し、結果的に 2021 年 8 月に自ら「フー
ドバンクつばめ」を立ち上げました。

フードバンク つばめ

食の支援

- ・コミュニティフリッジ
- ・子ども食堂
- ・フードバンク事業
- ・宮町食堂

教育の支援

- ・無料塾つばめ寺子屋
- ・学用品リサイクル事業
- ・就学支援事業

生活支援や子どもの遊び場

- ・つばめベース
- ・交流・イベントの場
- ・生活用品リサイクル事業

交流と情報の支援

- ・子ども支援プロジェクト
- ・ママの相談室
- ・ママの休憩室

2023 年 12 月からは、全国 20 件中 9 番目の「コ
ミュニティフリッジ」を運営しています。新潟県内
で唯一の無人・24 時間型の食糧支援システムで、登
録者はスマートフォンを使って入室してバーコード
を使って受け取ることができます。県内全域から
500 世帯が登録して、燕まで食糧を求めてやって来
ます。年間 3900 万円分を提供しています。

登録世帯数 **500** 世帯登録世帯の
子どもの人数 **820** 人年間の総支援量 約 **65** t金額換算 約 **3,900** 万円
(1 年分) (セカンダリベスト基準)

※コミュニティフリッジに入庫した食料を kg 換算したものです

年間
利用回数 約 **5,964** 回

※1 世帯が複数回利用した回数も含む



庫内の様子

子どもの居場所としては、年間 1 万 5,000 人くらいが利用にきています。燕まつりの日は 2 日間で 3,000 人位、駄菓子屋も設けて非常に賑わいました。

無料の寺子屋で学習支援をしており、今は 20 人以上の小中学生がやってきます。子ども食堂は毎週土日、長期休みは毎日やっています。食支援と居場所、貧困への対応に、ということです。

奨学金制度も作りました。貧困のために進学をあきらめなくても良いように、高校生 5,000 円、大学・専門学校生 30,000 円を卒業まで毎月、現在は約 200 人に給付しています。

これまでに「これはもう変えた方がいいんじゃないか、時代に合わないんじゃないか」ということを申し上げてきても、変わりませんでした。既存の在り方、枠組みというのは地域の経営者にとっては居場所になっており、その中で奉仕活動をやりましょうと同じ目的でやっているわけですが、形骸化しては駄目だと思います。

元々はロータリーの中で気づいた、こういった困難な状況にある子供たちへの支援を、お母さんと学生を含めて未来の子供たちへの支援を、私はやってきました。

皆さんにもできることをクラブで相談してやっていただきたいと思います。

本日はガバナー補佐という立場では言えませんがひとりの会員としてお話をさせて頂いています。

こういうことは私はやってきました。ゴルフもやめて土日全部フードバンクの方に捧げて、地域のその課題解決に取り組んでいると、これが私のロータリークラブとして取り組んでいる現状です。こういったことを皆さんにお話することで自分たちにもできるんだということに気づいていただきたいと思います。

F アレッツォ RI 会長からのメッセージ (2025 年 7 月 1 日発信)

親愛なる友人の皆さま



2 週間前、私は自宅の居間で孫たちと遊んでいました。その数日後、私はカルガリー行き of 飛行機に乗り、この素晴らしい組織を率いるという突然の責任を負うこととなりました。人生はあっという間に過ぎますが、自分がいるべき場所に導いてくれるものです。

今年度の始まりに、次の明確なメッセージをお伝えしたいと思います：

よいことのために手を取りあおう。 シンプルながら、力強いフレーズです。ロータリーでは、あらゆる取り組み、日々の奉仕、入会してくる新会員、世界的な課題への対応の裏に、二つのことがあります。それは「友情」と「信頼」です。

強いクラブは、友情と信頼によって築かれます。私たちは、友情と信頼のもとに有意義なパートナーシップを築き、世界的な問題を各地域で解決へと導きます。私たちは、肩書や称賛のためでなく、謙虚さ、人間性、思いやりをもってリーダーシップを発揮します。しかし、実のところ、このようなリーダーシップは必ずしも簡単ではありません。私たちは人間であり、間違えることもあります。意見が対立することもあります。ロータリーではより大きな視点が求められます。ロータリーのビジョン声明の全文を見てみましょう：

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」

特に肝心なのは、「自分自身の中で」という部分です。なぜなら、変革とは戦略から始まるものではないからです。変革は、一人ひとりの人格や互いへの接し方から始まります。どのように耳を傾け、サポートし、奉仕するかということから始まるのです。

今年度、そのことを胸にリーダーシップを発揮していただくようお願いいたします。関係を通じてロータリーを成長させ、より親しみやすく、柔軟で、新しいアイデアを受け入れるクラブとなり、1 年という枠を超えてビッグに考えてください。私たちの任期はあっという間ですが、継続性とビジョンを持って計画、行動すれば、末長いインパクトを生むことができます。私たちの優先事項が、会員増強、ポリオ、平和であることも忘れないようにしましょう。かつてないほどポリオの根絶に近づいていますが、ここで歩みを止めるわけにはいきません。世界の子供たちとの約束を守らなければなりません。また、ロータリーは 1 世紀以上にわたって平和を構築してきました。安全な水のシステム、青少年交換、母子の健康プロジェクトなど、あらゆる活動が平和へのステップとなります。

私が若き職業人としてロータリーに入会したとき、役に立ちたいと強く思っていました。人前で話すことを恐れていました。ロータリアンの仲間たちが私を信頼し、さまざまな役割を担うよう背中を押してくれました。そうする中で、ロータリーが私の人生を変えました。ロータリーは、勇気と目的を与えてくれました。何よりも、皆さま、すなわち世界中の友人、チーム、ファミリーを与えてくれました。

友人の皆さま、引き出しの奥にしまっていた夢、特に大きすぎたり大胆すぎたりして実現できないと思っていた夢を、取り出すときが来ました。その夢に光を当てましょう。クラブ、地域社会、そして世界のために、よいことのために手を取りあおうではありませんか。リーダーとして奉仕するだけでなく、喜び、つながり、愛に満ちた 1 年といたしましょう。

感謝と敬意を込めて

2025-26 年度国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレッツォ